

編集後記

多治見の駅を降りて旧市街の商店街をうろつくと陶器のお店が沢山ある。年に数回、研究会で核融合科学研究所 (NIFS) に出向く際は、早起きして街中を歩く時間を作って出かけるようにしている。たまに NIFS 行きのバスに乗り遅れそうになって汗だくで走ることもある。怒られそうだけど、多治見は核融合の町と言うよりは陶器の町に思えるし、正直この小一時間の散策の方が楽しみである。

実家の親父は七十代も半ばに入り、最近では自分の葬式のことばかり気にしている。親父は全くの文系で、理系の僕とは正反対に思えるが趣味は略一致している、不思議だ。最近二人は陶芸にはまっている。以前から僕は陶器に興味があり、いつかロクロをやってみたいと思っていた。そんな折、共同研究をしていたイタリア人を連れて笠間に行ったのをきっかけに、数ヶ月に一回程度であるがロクロをまわしに行くようになったのだ。親父はそれとは関係なく、手捻りで酒呑を作り始め、いつの間にか電気炉を購入していた。実家の部屋は釉薬のバケツで足の踏み場もない。このところ抹茶碗を作っているが、陶芸は奥が深い。最初は形を作るので満足していたが、高台の仕上げ方、見込みの茶だまり、釉薬の掛け方等々気になり出している。最近焼き時間設定の調整に乗りだした。

僕はこのところ黄瀬戸に凝っている。釉薬の解け具合と

結晶のでき方で表面がザラついた“油揚肌”と、表に入れた丹礬が器の内面までしみ出してくる“抜け丹礬”を目標にしている。釉薬と言うのは、岩石や木灰に含まれる珪素や金属で構成されていて、仕上がりはまさにアモルファスを作るのか見える位の結晶を作るのかと言った物理である。また、雰囲気酸素濃度で酸化反応と還元反応が起こり、色艶は一変する。ある程度科学的な解明も進んでいるが、組成が複雑なためか実験が必要らしい。釉薬の種類も大切だが、結晶の状態が問題なら焼き時間の調整だと思いついた。説明書には載っていない運転をしたいと思い、炉の製造会社に問い合わせたところ、思ったとおりの答えが返ってきた。

僕はつくばに住んでいるので炉の運転は親父に任せている。問い合わせた結果と合わせて電話で指示するが、そこは七十を超えた文系の爺さんである。一寸したトラブルで泡を食う。不意に温度が下がった炉にマニュアルどおりの運転を試みて、ヒータが悲鳴を挙げ焦げ臭くなったらしい。なんか派遣の実験補助を使って事故を起こす身近な研究所のようで苦笑してしまう。それでも親孝行、親孝行、頻繁に実家に帰るための口実にも陶芸は一役買っている。そのうち親父を連れて多治見や備前を旅したいと思っている、研究会とは関係なしに。(小口治久)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	松田慎三郎	副 会 長	佐藤浩之助	三間 園興	常務理事	中村 幸男 (総務委員長)
理 事	秋山 秀典 (企画委員長)		板垣 正文		今井 剛 (広告委員長)	
	奥野 健二 (プログラム委員長)		尾崎 章		加藤 敬 (財務委員長)	
	佐野 史道		田中 和夫 (編集委員長)		寺井 隆幸	
	畠山 力三		畑山 明聖		浜口 智志 (出版委員長)	
監 事	本島 修		森 雅博 (広報委員長)			
	藤山 寛		松尾 慶一			

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 田中和夫 (阪大)

エディター 岡子秀樹 (九大), 田中雅慶 (九大), 福山 淳 (京大), 村上匡且 (阪大), 室賀健夫 (核融合研), 行村 建 (同志社大)
 編集委員 石黒静児 (核融合研), 大矢恭久 (静大理), 越智義浩 (原子力機構), 加藤太治 (核融合研), 北島純男 (東北大院工), 北野勝久 (阪大院工), 小口治久 (産総研), 後藤基志 (核融合研), 佐伯紘一 (静大理), 酒井 道 (京大院工), 榊原 悟 (核融合研), 佐藤紘一 (京大原子炉研), 佐藤 聡 (原子力機構), 佐藤杉弥 (日本工業大工), 高山有道 (核融合研), 田中照也 (核融合研), 谷口和成 (京都教育大教育), 長崎百伸 (京大エネ研), 長友英夫 (阪大レーザー研), 浪平隆男 (熊大院自然), 野崎智洋 (東工大院理工), 畠山賢彦 (東北大金研), 花田和明 (九大応力研), 林 伸彦 (原子力機構), 平田孝道 (武蔵工大工), 平松美根男 (名城大理工), 吉川正志 (筑波大院数理), 吉田弘樹 (岐阜大工)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第83巻第12号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,365円 (本体1,300円)

印刷 株式会社荒川印刷

2007年 (平成19年) 12月25日

本誌に掲載された寄稿等の著作権は (社) プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月第1火曜日に開かれています。但し、都合により変更になる場合があります。